

青森県埋蔵文化財調査センターの紹介です!

HPアドレス: <https://www.ao-maibun.jp/>

青森県埋蔵文化財調査センターは、道路やダムなどを造る前に、遺跡の発掘調査を行っています。これまでに青森県内の様々な歴史を明らかにしてきました。また発掘調査現場を皆さんに公開したり、遺物教材を貸し出ししたり職場体験の受け入れや、毎年12月には発掘調査報告会で成果の速報も行っています(今年は12月17日(金)からホームページに発掘調査報告資料を公開し、会場では実施しません)。

発掘調査の正式な成果は「発掘調査報告書」という本にまとめて、各地の図書館に置くほか、最近ではインターネットでの公開も進めています。当センターの仕事や近年の調査成果を紹介します。

遺跡発掘調査 (いせきはつつちょうさ)

地面の下には、現代～何万年も前までの歴史が眠っています。遺跡を掘ると、様々な時代の建物跡・穴・溝やお墓・ゴミ捨て場などが発見され、土器・石器・鉄製品などが出土します。地元の作業員さんたちは、土を掘り下げて新しい発見をするなど、発掘調査現場で大活躍します。



作業員さんが竪穴建物跡を掘り進めています。柱穴を掘る人、床や周りをきれいにする人など様々です。



約6mの正方形の奈良時代の竪穴建物跡が掘り上げられました。柱穴やカマドの跡が良く残っています。



報告書作成 (ほうこくしょさくせい)

出土した土器・石器は水洗い後、接着剤で接合し、壊れる前の形に復元します。その後、精密な図を描いたり、写真を撮ります。それらの土器・石器と竪穴建物跡やお墓の図・写真を組み合わせて、文章を書き本(報告書)を作っていきます。工事が行われた遺跡の内容は、このような「記録」となって、ずっと残っていきます。



バラバラの土器を接着剤でくっつけて壊れる前の形に復元します。部品がないところは石膏(せこう)で埋めています。



定規で測って、土器の図面を作ります。実物を見たことが無い人に土器の詳しい情報を伝えるための図面です。



職員が文章を書き、発掘調査と土器・石器等の図面・写真を組み合わせて本(報告書)を作成に近づけていきます。



3月頃に発掘調査報告書が完成します!

新しい調査成果 (あたらしいちょうさけっか)

令和元年には、北と南の文化が入り混じる古墳時代の墓地在、七戸町猪ノ鼻(1)遺跡から見つかりました。令和2年には、平安時代の竪穴建物跡のカマドの煙出し穴に、方頭大刀(ほうとうたち)と呼ばれる貴重な刀が突き刺さったまま出土した八戸市法霊林遺跡が注目されました。

古墳時代のお墓! 七戸町猪ノ鼻(1)遺跡



底の両側に柱穴があるお墓は北海道の「縄文文化」の影響です。



古墳文化のもの
見つかった6基のお墓からは、県内最古の鉄製品(刀子)やガラス玉、赤い高坏など、南の古墳文化の遺物がいろいろ見つかりました。3世紀後半～4世紀前半頃の青森県には、前方後円墳を造らない有力者がいたようです。

縄文文化のもの

大刀、全国初の出土例! 八戸市法霊林遺跡



当時の中央政府から「蝦夷(えみし)」と呼ばれた人々の奈良時代～平安時代の村です。一辺8mほどの一番大きな家が燃やされた状態で見つかりました。土器(土師器・須恵器)・鉄製品・炭化した米などが出土したほか、カマドの煙出し穴から「方頭大刀(ほうとうたち)」と呼ばれる刀が、木の鞘に入ったまま、出土しました。全国でも例を見ない、初めての出土状況です。

蝦夷は、宝物である貴重な刀をカマドの穴に突き刺して、何を願ったのでしょうか? これから研究を進めていきます。



問 青森県埋蔵文化財調査センター TEL.017-788-5701 E-mail: E-MZCHOSA@pref.aomori.lg.jp

教育広報 あおもりけん Vol.63

2021.12 令和3年12月発行

北海道・北東北の縄文遺跡群 - JOMON JAPAN - <https://jomon-japan.jp>

青森県教育委員会ホームページアドレス ⇒ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-seisaku/main.html>

令和2年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています (※受賞当時の学校と学年です)

優秀賞 作品

寄り添いは 閉ざした扉を 開くカギ 三沢市立岡三沢小学校 6年 大久保 琥太

手を止めて 送信前に 考えよう むつ市立川内中学校 3年 鈴木 虹花

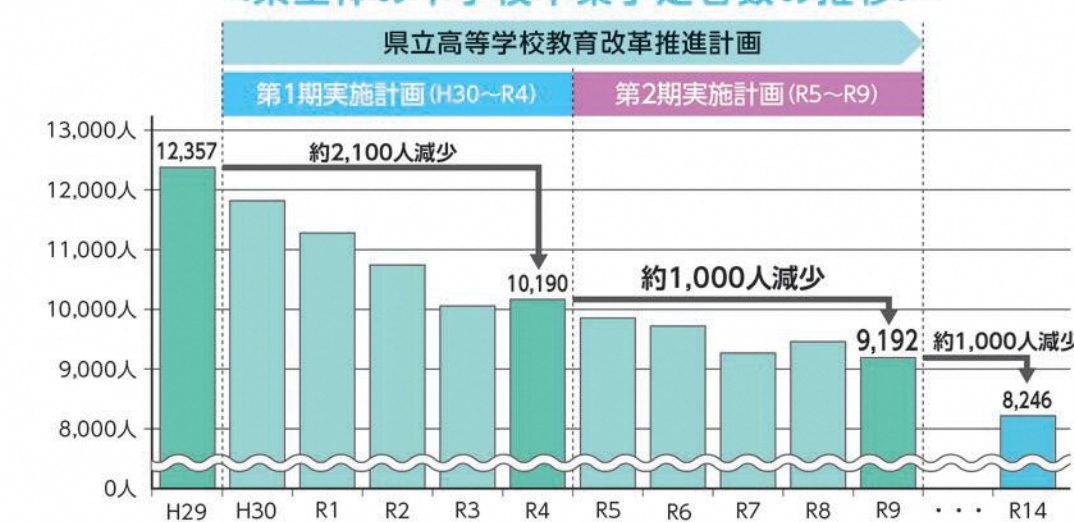
青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画

県教育委員会では、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする「青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画」を令和3年11月12日に決定しました。

県立高校教育改革の背景

- 社会の急速な変化 (グローバル化の進展等)
- 高等教育を巡る環境の変化 (学習指導要領改訂等)
- 進路志望等の多様化
- 中学校卒業予定者数の減少 (第2期実施計画期間中に約1,000人減少)

<県全体の中学校卒業予定者数の推移>



県立高等学校教育改革推進計画
第1期実施計画(H30~R4) 第2期実施計画(R5~R9)

約2,100人減少
約1,000人減少
約1,000人減少

第2期実施計画策定の経緯

時期	取組内容
平成28年 1月	青森県立高等学校将来構想検討会議答申
平成28年 8月	基本方針策定
平成29年 7月	第1期実施計画策定
令和 2年 3月~5月	基本方針検証会議開催
令和 2年 8月	基本方針改定
令和 2年 9月~令和 3年 2月	地区意見交換会(県内6地区×3回)開催
令和 3年 7月	第2期実施計画(案)公表
令和 3年 7月~10月	地区懇談会、パブリック・コメント実施
令和 3年11月	第2期実施計画策定

高校教育改革に関する基本的な考え方(おおむね10年)

基本方針(改定前) 基本方針(改定後)

学科改編や地区ごとの具体的な学校規模・配置等

第1期実施計画(H30~R4) 第2期実施計画(R5~R9)


<第2期実施計画策定・推進の考え方>

- 充実した教育環境の整備と各地域の実情への配慮
- 生徒の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための魅力ある高校づくりの更なる推進

問い合わせ先

〒030-8540 青森市長島1-1-1 青森県教育庁高等学校教育改革推進室
電話:017-734-9866 FAX:017-734-8003
メール: E-KAIKAKU@pref.aomori.lg.jp

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kaikaku/kenritukoutougakkoukyouikaikaku.html>



今回の計画策定に当たっては、各学校の関係者、地域の方々など多くの県民の皆様から、数多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

今後は、未来を担う子どもたちが変化の激しい時代にあっても、夢や志の実現に向けて成長することができるよう取り組んでまいりますので、県民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、これまでの検討状況やご意見に対する考え方については、県教育委員会のホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

